


よくある相談事例

対 象	イヌマキ(ラカンマキ, ナギ)																				
タイトル	キオビエダシャクの効果的な防除方法は？																				
内 容	いつ, どのように防除すればよいですか？																				
助言等	<ul style="list-style-type: none"> ・ キオビエダシャクの防除は, 幼虫を対象として行います。 ・ イヌマキやナギを定期的に観察し, 幼虫を早期発見することが重要です。 <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼虫が少数の時は, 捕殺してください。 2. 大発生の際は, 登録薬剤を散布してください。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><u>主な登録薬剤</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名 (有効成分)</th> <th style="text-align: center;">希釈倍率</th> <th style="text-align: center;">使用時期</th> <th style="text-align: center;">本剤の 使用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">トレボン乳剤 (エトフェンブロックス乳剤)</td> <td style="text-align: center;">4000倍</td> <td style="text-align: center;">幼虫発生期</td> <td style="text-align: center;">6回以内</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">アディオン乳剤 (ペルメトリン乳剤)</td> <td style="text-align: center;">4000~8000倍</td> <td style="text-align: center;">発生初期</td> <td style="text-align: center;">6回以内</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ロックオン (フルベンジアミド水和剤)</td> <td style="text-align: center;">1000倍</td> <td style="text-align: center;">発生初期</td> <td style="text-align: center;">2回以内</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">マツグリーン液剤2 (アセタミプリド液剤)</td> <td style="text-align: center;">100~250倍</td> <td style="text-align: center;">発生初期</td> <td style="text-align: center;">5回以内</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 20px; font-size: small;">令和6年5月現在</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ これらの薬剤は付着した部分のみで効果があり, 散布後に伸びた新芽では効果はありませんので, ご注意ください。 ・ 薬剤の散布に当たっては, 薬剤の使用方法及び使用上の注意事項を遵守し, 安全かつ適正に実施してください。 ・ 成虫や蛹を対象とした薬剤はありません。 	薬剤名 (有効成分)	希釈倍率	使用時期	本剤の 使用回数	トレボン乳剤 (エトフェンブロックス乳剤)	4000倍	幼虫発生期	6回以内	アディオン乳剤 (ペルメトリン乳剤)	4000~8000倍	発生初期	6回以内	ロックオン (フルベンジアミド水和剤)	1000倍	発生初期	2回以内	マツグリーン液剤2 (アセタミプリド液剤)	100~250倍	発生初期	5回以内
薬剤名 (有効成分)	希釈倍率	使用時期	本剤の 使用回数																		
トレボン乳剤 (エトフェンブロックス乳剤)	4000倍	幼虫発生期	6回以内																		
アディオン乳剤 (ペルメトリン乳剤)	4000~8000倍	発生初期	6回以内																		
ロックオン (フルベンジアミド水和剤)	1000倍	発生初期	2回以内																		
マツグリーン液剤2 (アセタミプリド液剤)	100~250倍	発生初期	5回以内																		

